

平成29年度第1回小田原市生活交通ネットワーク協議会 次第

日 時 平成29年5月16日(火) 午前10時
場 所 小田原市役所3階 議会全員協議会室

1. 開 会

2. 議 題

・協議事項

- (1) 平成28年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業報告について
- (2) 平成28年度小田原市生活交通ネットワーク協議会決算報告について
- (3) 平成29年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業(案)について
- (4) 平成29年度小田原市生活交通ネットワーク協議会予算(案)について
- (5) 平成28年度小田原市地域公共交通総合連携計画の事業実施状況の評価(案)について

・報告事項

- (1) 橘地域における実証運行の状況について
- (2) まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業について
(第4回バス de おでかけプロジェクトの実施について)
- (3) 小田原駅周辺・訪日外国人旅行者等が移動を円滑に行うための交通サービスに関する調査について

・その他

3. 閉 会

平成 28 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業報告

年月日	内 容
平成 28 年 6 月 10 日	生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）の策定に係る書面協議 （平成 28 年 6 月 16 日承認）
平成 28 年 6 月 26 日	小田原駅西口広場レイアウトの見直し（荷捌き駐車場のチェーンの撤去等）
平成 28 年 7 月 25 日	平成 28 年度第 1 回小田原市生活交通ネットワーク協議会 協議事項 （1）小田原市生活交通ネットワーク協議会規約の改正について （2）平成 27 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業報告について （3）平成 27 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会決算報告について （4）平成 28 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業（案）について （5）平成 28 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会予算（案）について （6）平成 27 年度小田原市地域公共交通総合連携計画の事業実施状況の 評価（案）について 報告事項 （1）橘地域における実証運行の状況について （2）小田原駅西口広場の見直しについて （3）小田原駅周辺・訪日外国人旅行者等が移動を円滑に行うための 交通サービスに関する調査について （4）まち・住まい・交通の創備省エネルギー化モデル構築支援事業について
平成 28 年 7 月～8 月	まち・住まい・交通の創備省エネルギー化モデル構築支援事業 ・「第 3 回バス de おでかけプロジェクト」の実施
平成 28 年 10 月～ 平成 29 年 3 月	小田原駅周辺・訪日外国人旅行者等が移動を円滑に行うための 交通サービスに関する調査の実施
平成 28 年 10 月 12 日	「バスの乗り方教室」開催 ・山王小学校で実施
平成 28 年 10 月 21 日	「バスの乗り方教室」開催 ・早川小学校で実施
平成 28 年 12 月 19 日	平成 28 年度第 2 回小田原市生活交通ネットワーク協議会 報告事項 （1）橘地域における実証運行の状況について （2）鴨宮方面の大型商業施設等へのバス路線の検討について （3）小田原駅周辺・訪日外国人旅行者等が移動を円滑に行うための 交通サービスに関する調査について （4）まち・住まい・交通の創備省エネルギー化モデル構築支援事業について その他 ・小田原駅西口広場出口右折時の安全性に関する聞き取り調査の結果報告
平成 29 年 3 月 22 日～	バスマップの配布
平成 29 年 3 月 31 日	小田原駅東口ロータリーのレイアウトの見直し（タクシー小型・中型統一に伴う 乗車口の変更）

平成 28 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会決算報告（案）

1. 歳入 (単位：円)

科 目	決算額	摘 要
補助金	4, 320, 000	平成 28 年度訪日外国人旅行者受 入環境整備緊急対策事業費補助金
負担金	300, 000	小田原市
繰越金	361, 112	前年度
雑入	3	預金利子
合計	4, 981, 115	

2. 歳出 (単位：円)

科 目	決算額	摘 要
会議費	140, 823	報酬、旅費、需用費（食糧費・消 耗品費）
事務費	136, 665	旅費、需用費（消耗品費）
事業費	4, 320, 000	小田原駅周辺・訪日外国人旅行者 等が移動を円滑に行うための交通 サービスに関する調査事業費
合計	4, 597, 488	

※歳入と歳出の差額 383, 627 円は次年度に繰り越しとする。

監 査 報 告 書

小田原市生活交通ネットワーク協議会規約第10条第1項の規定により、平成28年度収入支出決算について監査した結果、適正なものと認めます。

平成29年5月10日

小田原市生活交通ネットワーク協議会

監事 小田原箱根商工会議所 長田 圭司 

監事 神奈川県県土整備局都市部交通企画課長 福島 温 

平成 29 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業（案）

年月日	内 容
平成 29 年 5 月 16 日	<p>平成 29 年度第 1 回小田原市生活交通ネットワーク協議会</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 平成 28 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業報告について</p> <p>(2) 平成 28 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会決算報告について</p> <p>(3) 平成 29 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業（案）について</p> <p>(4) 平成 29 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会予算（案）について</p> <p>(5) 平成 28 年度小田原市地域公共交通総合連携計画の事業実施状況の評価（案）について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 橘地域における実証運行の状況について</p> <p>(2) 小田原駅周辺・訪日外国人旅行者等が移動を円滑に行うための交通サービスに関する調査について</p> <p>(3) まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業について</p>
平成 29 年 7 月～9 月	<p>まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業</p> <p>・「第 4 回バス de おでかけプロジェクト」の実施</p>
平成 29 年度	<p>橘地域におけるバス路線再編の実証運行</p> <p>第 2 回目 路線及び運行ダイヤの再編（8 月頃）</p>
平成 29 年 10～11 月頃	<p>バスの乗り方教室開催</p> <p>・山王小学校、早川小学校、新玉小学校、久野小学校で実施</p>
平成 29 年 11 月頃	<p>平成 29 年度第 2 回小田原市生活交通ネットワーク協議会</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 橘地域における実証運行の状況について</p> <p>(2) まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業について</p>
平成 30 年 3 月頃	<p>バスマップの配布</p>

平成 29 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会予算（案）

1. 歳入

（単位：円）

科 目	予算額	摘 要
負担金	250,000	小田原市
繰越金	383,627	前年度からの繰越
合計	633,627	

2. 歳出

（単位：円）

科 目	予算額	摘 要
会議費	150,000	報酬、旅費、需用費（食糧費・消耗品費）
事務費	303,627	旅費、需用費（消耗品費）
予備費	180,000	
合計	633,627	

※但し、科目間の流用を認める。

平成28年度 小田原市地域公共交通総合連携計画の事業実施状況の評価(案)

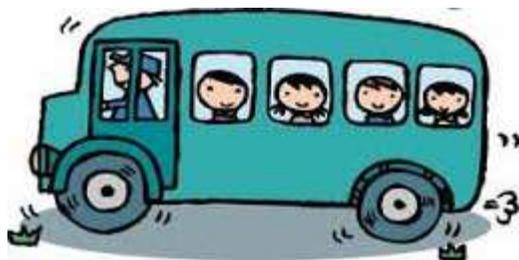
事業番号	事業名	実施主体	短期 (平成27年度)	中長期 (平成34年度)	事業実施状況 (平成28年度)	事業実施評価 (平成28年度)	
1	主軸路線の位置づけ・主要施設へのアクセス向上	交通事業者・行政	協議・実証運行等	実施	・橋地域のバス路線再編に伴い、橋タウンセンターこゆるぎへの経由を実施(H28.3.26～)	A	
優先 2	乗継環境の円滑化	①ダイヤの改善	交通事業者・行政	協議後、一部実施	実施	・鉄道事業者からダイヤ改正情報を入手し、バス事業者へ事前提供(御殿場線H29.2)	A
		②機能・重要度に応じた乗継拠点の整備	交通事業者・行政	協議後、順次整備	順次整備		C
重点 3	ニーズに応じた路線バスの改善	①利用目的・時間帯等に配慮した運行	交通事業者・行政	協議・実証運行等	実施	・橋地域を運行する路線バスの見直し等の検討・協議(橋公共交通検討会を4回開催) ・上記の検討・協議に基づくバス路線再編の実証運行を継続して実施	A
		②おでかけ品質確保・向上のためのルールづくり	市民・交通事業者・行政	協議後、一部実施	継続的实施	・作成したルールを市ホームページ上に公開(H29.4)	A
最優先 4	分かりやすい情報提供	①バス停・行き先案内等の統一化	交通事業者・行政	協議後、一部実施	実施		C
		②主要バス停における共通時刻表・路線図・運賃表の掲出	交通事業者・行政	協議後、一部実施	実施	・ハルネ小田原におけるバス時刻表の統一化の実施	A
		③小田原駅における案内サインの改善・案内所の一元化	交通事業者・行政	協議後、順次整備	順次整備	・小田原駅における案内サインの改善等の検討・協議	A
		④駅前広場のレイアウト等の見直し	交通事業者・行政	協議後、順次整備	順次整備		A
		⑤バスマップの作成・配布	交通事業者・行政	継続的实施	継続的实施	・バスマップの配布(H28年度改訂、3月配布)	A
		⑥インターネットの活用等による情報提供の充実	交通事業者・行政	協議後、実施	継続的实施		A
5	バリアフリー化の促進	①ノンステップバス・UDタクシーの導入推進	交通事業者・行政	継続的实施	継続的实施		C
		②バス停・バス停までのルートのバリアフリー化	交通事業者・行政	協議後、順次整備	順次整備		A
6	路線バスの走行環境の向上	①駅前広場における路線バスの優先性の確保等	交通事業者・行政	協議後、順次整備	順次整備		A
		②路線バス走行環境を支援する施策の展開	交通事業者・行政	協議、実証実験等	実施		A
7	利用促進・交通需要マネジメント	①児童・保護者を対象としたバスの乗り方教室、児童作品の車内展示等	市民・交通事業者・行政	協議後、一部実施	実施	・バスの乗り方教室の実施(箱根登山バスH28.10 早川小・山王小の2校の2年生計66名) ・平成29年度バスの乗り方教室実施小学校の募集	A
		②商業施設・公共施設と連携した特典サービスの実施等	企業・交通事業者・行政	協議後、一部実施	実施	・大型商業施設であるダイナシティ内の店舗と当該商業施設に乗入れているバス事業者がタイアップし、「バスdeおでかけプロジェクト」を実施(H28.7.1～9.30)	A
		③企業と連携したエコ通勤の推進等	企業・交通事業者・行政	協議後、一部実施	実施	・西湘テクノパーク企業連絡協議会及び橋商工会に対して実証運行の利用状況の報告 ・西湘テクノパーク企業アンケート調査の実施(H28.8) ・橋商工会広報誌による実証運行の利用状況の報告と利用啓発の実施(H29.3)	A

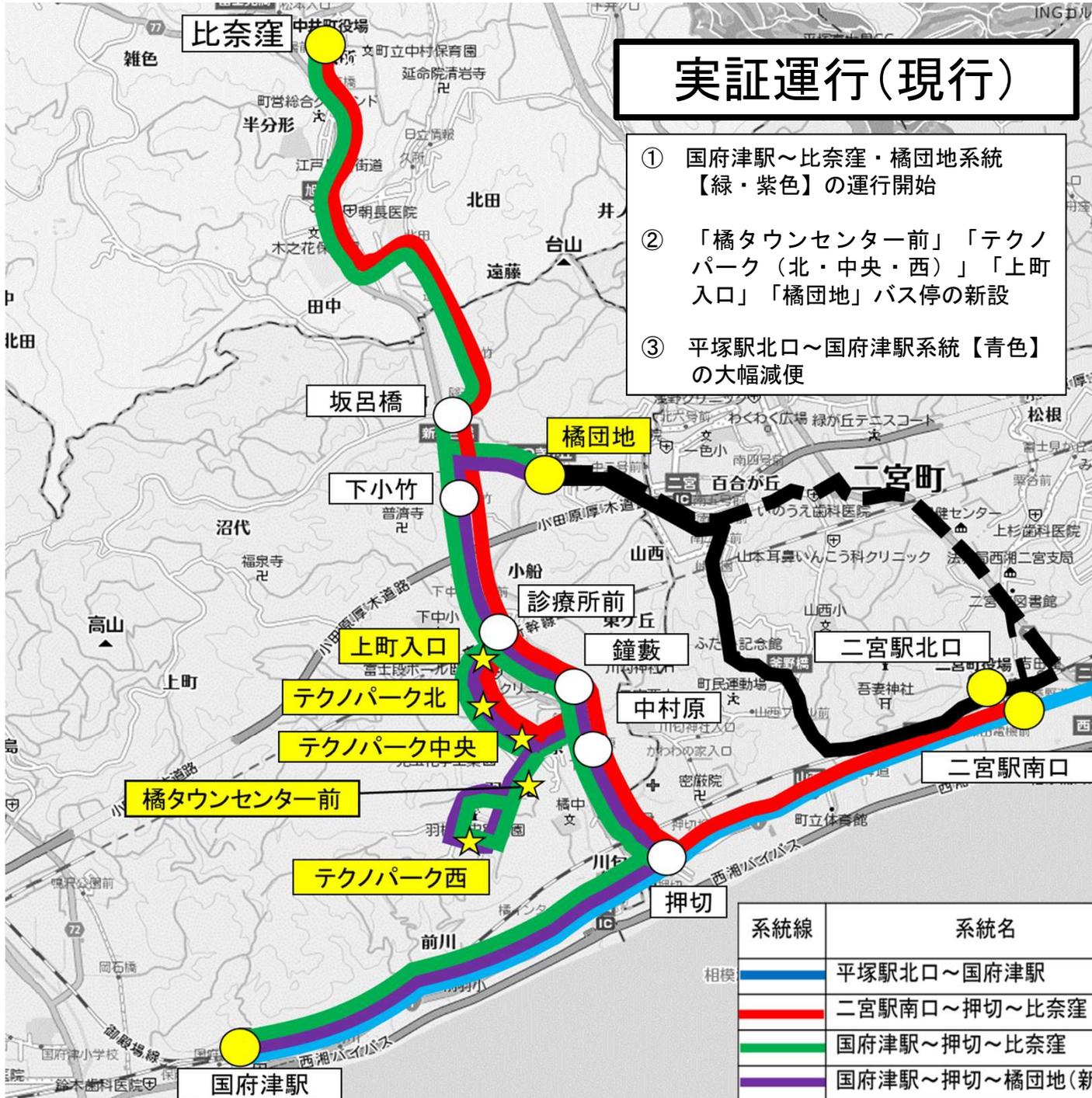
凡例 A:実施 B:協議・検討中 C:未実施

【計画全体評価】

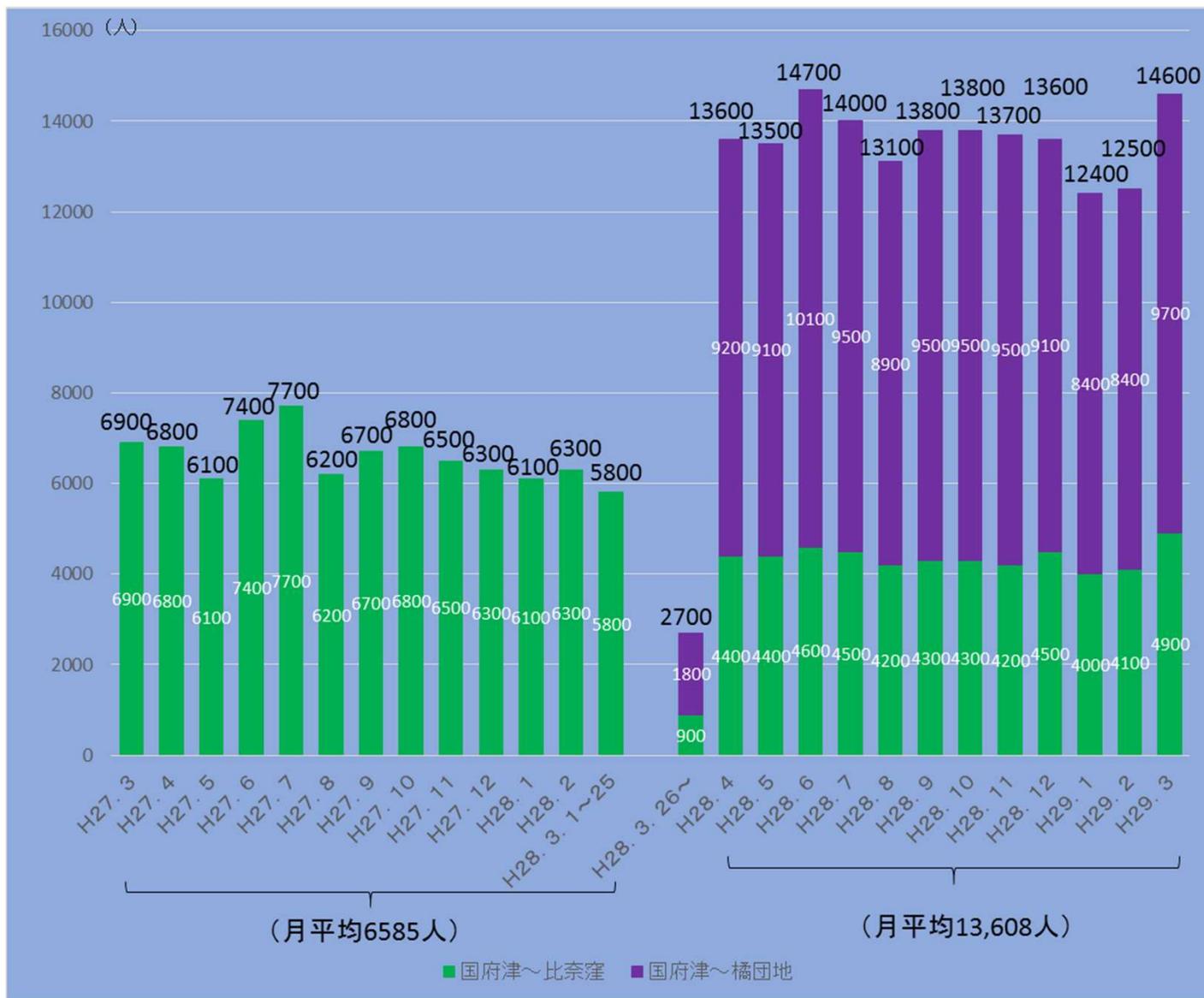
--

橘地域における実証運行の状況について

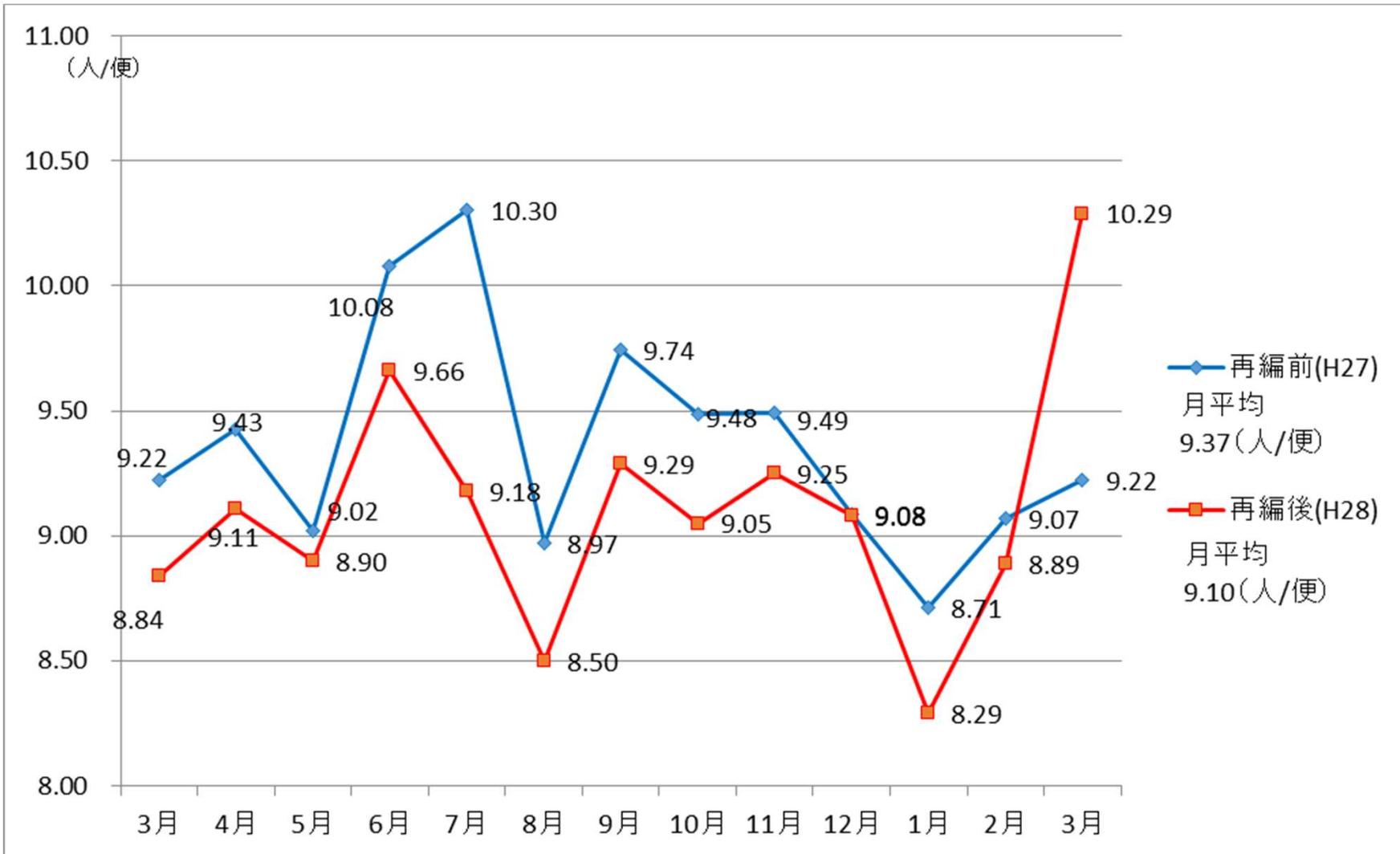




国府津駅～比奈窪・橘団地系統 乗車人数比較

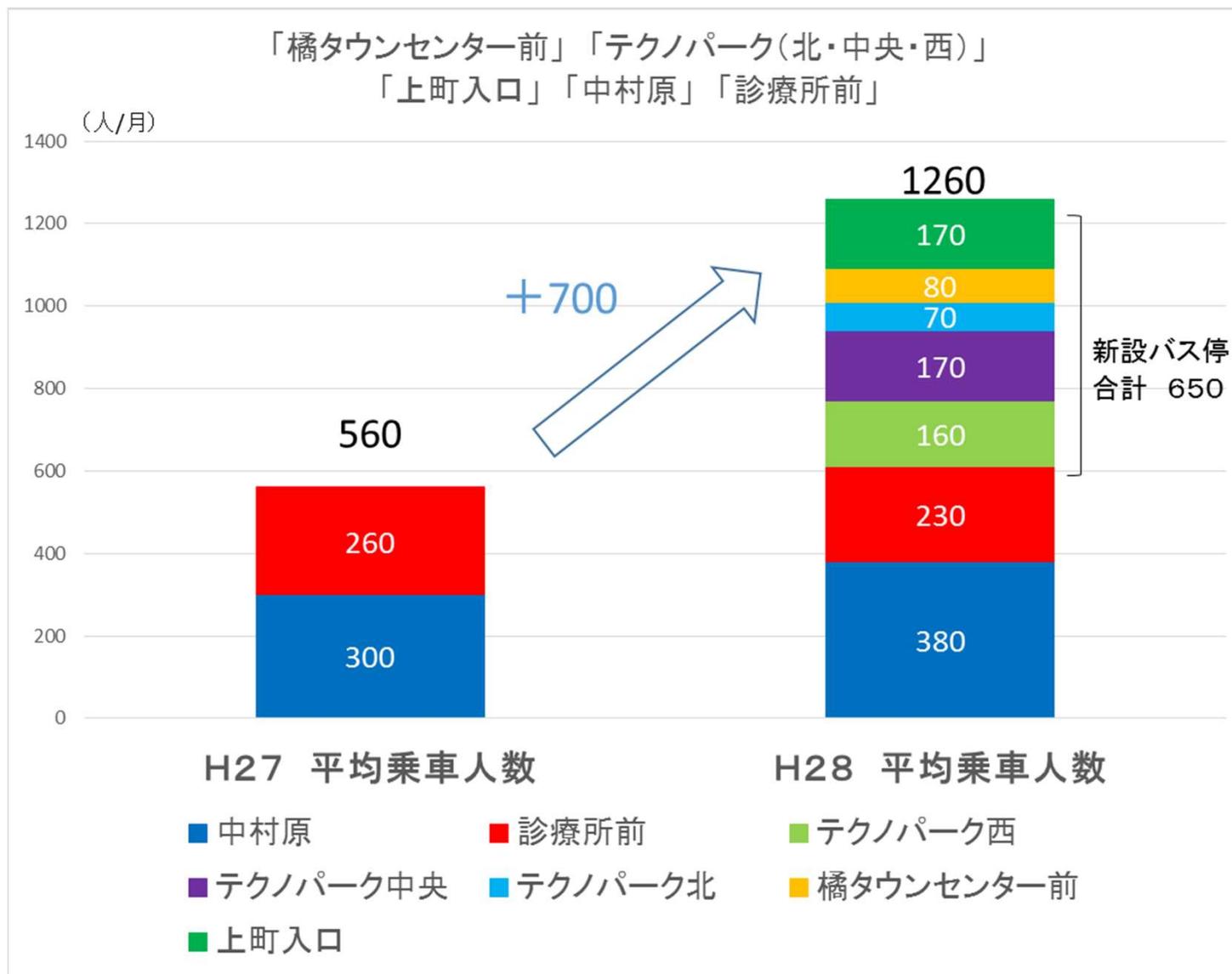


国府津駅～比奈窪・橘団地系統 輸送効率比較



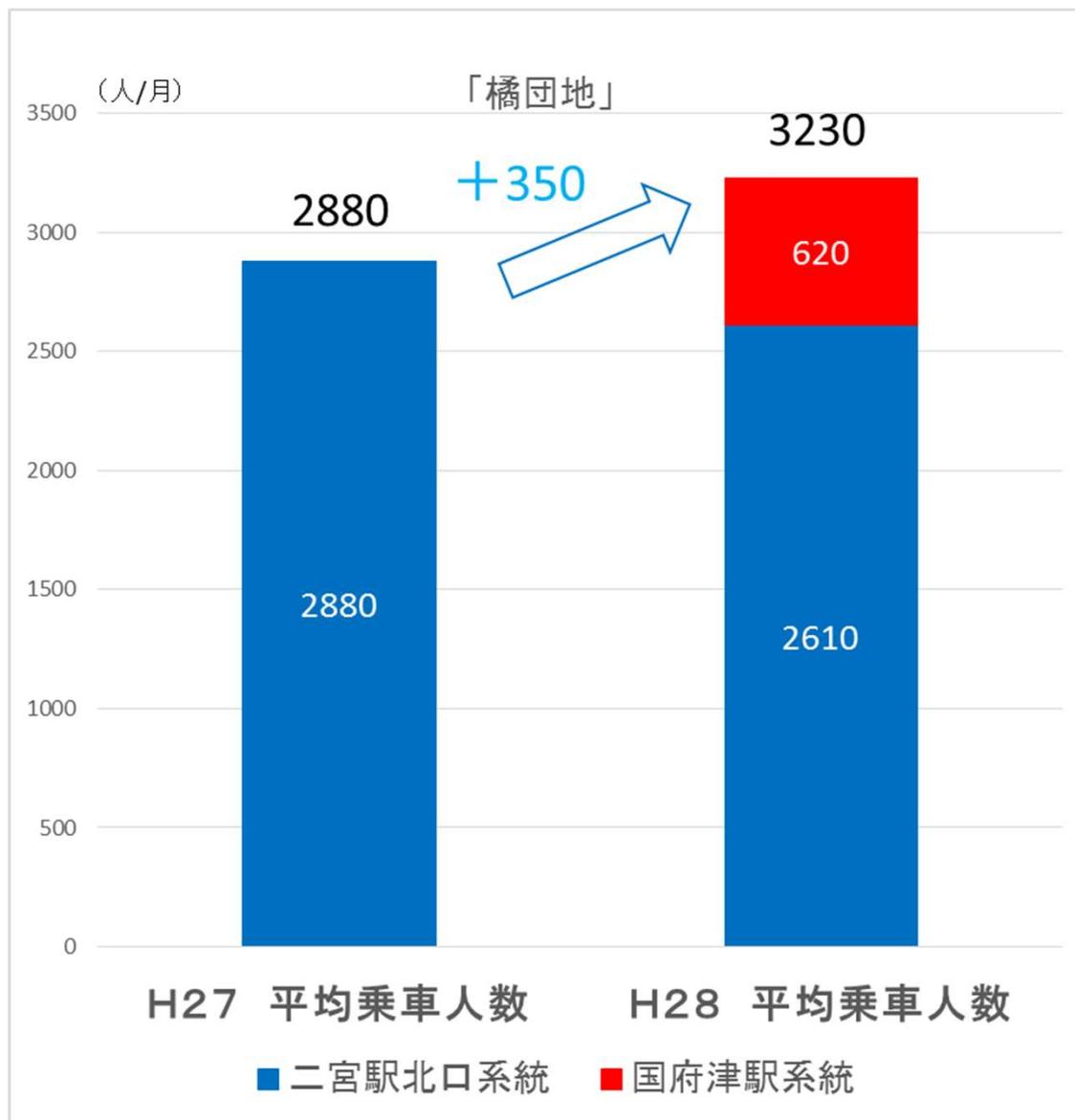
テクノパーク近隣のバス停ごとの比較

(平成28年4月～平成29年3月における1ヶ月間の平均乗車人数)



橋団地バス停の乗車人数比較

(平成28年4月～平成29年3月における1ヶ月間の平均乗車人数)



実証運行1年目の状況

- ▶ 1年目の実証運行(H28.3.26～)については、橘地域のニーズである「橘団地から国府津方面への接続」、「西湘テクノパーク等への乗り入れ」を図るバス路線の再編を実施した。
- ▶ 結果として、ニーズに合った利便性の向上が図られたことや様々な利用啓発などにより、バスの乗車人数は増加した。
- ▶ しかしながら、1便あたりの乗車人数である輸送効率では、二宮駅南口～比奈窪系統を除き、実証運行前の数値とあまり変化がない状況となっている。

第 4 回バス de おでかけプロジェクトの実施について

1 目的

本プロジェクトは、増加する本市の CO2 排出量の削減を図るため、小田原市低炭素都市づくり計画（平成 26 年 9 月策定）や国土交通省のまち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業（平成 27 年 3 月モデル構想策定）による検討を踏まえ、小田原市、商業施設及びバス事業者の官民連携により、自家用車からエコな公共交通への転換を推進するとともに市民のおでかけの機会の増加（健康増進・未病）を図ろうとするものである。

2 プロジェクト参加者

行 政：小田原市

商 業 施 設：株式会社ダイナシティ、西武小田原店、イトーヨーカドー小田原店

バス事業者：箱根登山バス株式会社、富士急湘南バス株式会社

3 実施期間

(1) 配布期間 平成 29 年 7 月 1 日(土)から平成 29 年 7 月 31 日(月)まで 31 日間
※配布期間中は、先着 200 枚/日(100 枚×2 箇所)を毎日配布

(2) 利用期間 平成 29 年 7 月 1 日(土)から平成 29 年 9 月 30 日(土)まで 92 日間

4 プロジェクトの仕組み

- (1) 購入金額 2,000 円（税込）ごとにバス無料乗車券 1 枚を配布（最大 2 枚まで）
- (2) 利用者は、プロジェクト実施期間内にバス無料乗車券を利用
- (3) バス事業者は、バス無料乗車券の利用実績に基づく運行協力金を商業施設へ請求
- (4) 商業施設は、バス事業者から請求された金額を支払い
- (5) プロジェクト終了後、バス事業者は、商業施設の広告をバス車内等に掲示

5 今後の実施方針

本プロジェクトは、3 年間（平成 27 年度：第 1 回・第 2 回、平成 28 年度：第 3 回、平成 29 年度：第 4 回）を目安として、効果を検証しながら現在の体制で実施することとしているため、第 4 回終了後に、プロジェクト継続の可否や実施方法等について検討を行う。

バス de おでかけプロジェクト 実施概要及び結果

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
配布期間	平成 27 年 7 月 15 日～7 月 24 日 10 日間	平成 27 年 11 月 3 日～12 月 31 日 59 日間 ※なくなり次第配布終了	平成 28 年 7 月 1 日～ 8 月 31 日 62 日間 ※なくなり次第配布終了
利用期間	平成 27 年 7 月 25 日～8 月 9 日 16 日間	平成 27 年 11 月 3 日～平成 28 年 1 月 31 日 90 日間	平成 28 年 7 月 1 日～ 9 月 30 日 92 日間
配布予定数	3,000 枚	6,000 枚	6,000 枚
購入金額	1 日税込 3,000 円以上	1 日税込 2,000 円以上	1 日税込 2,000 円以上
配布枚数	購入金額 3,000 円以上で 1 枚	購入金額 2,000 円ごとに 1 枚 ※最大 4 枚まで	購入金額 2,000 円ごとに 1 枚 ※最大 4 枚まで
利用条件	「ダイナシティ」又は「小田原東郵便局前」バス停で下車した場合に有効	「ダイナシティ」又は「小田原東郵便局前」バス停で乗車又は下車した場合に有効	「ダイナシティ」又は「小田原東郵便局前」バス停で乗車又は下車した場合に有効
予 算	商業施設 54 万円 ※9 万円/月×2 か月×3 社	商業施設 81 万円 ※9 万円/月×3 か月×3 社	商業施設 81 万円 ※9 万円/月×3 か月×3 社
広 報	ポスター、チラシ、店舗広告、ホームページ、広報誌、タウン誌、新聞による周知。	第 1 回で実施した周知方法に加え、次の方法により周知拡大を図った。 ○のぼり旗の設置 ○ギフトカタログ発送時にチラシ封入 ○バス車内でチラシ・ポスター掲示、案内放送 ○おだわらスマートシティフェアに出展	第 1 回で実施した周知方法に加え、次の方法により周知拡大を図った。 ○のぼり旗の設置 ○ギフトカタログ発送時にチラシ封入 ○バス車内でチラシ・ポスター掲示、案内放送
実施結果	配布枚数 263 枚(配布総数比 8.8%) 利用枚数 102 枚(配布枚数比 38.8%)	配布枚数 6,000 枚(全て配布済み) 利用枚数 3,917 枚(配布枚数比 65.3%)	配布枚数 6,000 枚(全て配布済み) 利用枚数 4,082 枚(配布枚数比 68.0%)
実施効果	自家用車からバスへの移行台数 18 台 ≒ 102 枚(バス無料乗車券利用枚数) × 18.5%(交通手段が「自家用車」の回答率)	自家用車からバスへの移行台数 951 台 ≒ 3,917 枚(バス無料乗車券利用枚数) × 24.3%(交通手段が「自家用車」の回答率)	自家用車からバスへの移行台数 881 台 ≒ 4,082 枚(バス無料乗車券利用枚数) × 21.6%(交通手段が「自家用車」の回答率)
アンケート	回 答 数 22 枚(利用枚数比 21.5%) 【ダイナシティへの普段の交通手段】 バ ス: 19 枚(35.2%) 自家用車: 10 枚(18.5%)	回 答 数 1,220 枚(利用枚数比 31.1%) 【ダイナシティへの普段の交通手段】 バ ス・電車: 976 枚(49.5%) 自家用車: 479 枚(24.3%)	回 答 数 1,144 枚(利用枚数比 28.0%) 【ダイナシティへの普段の交通手段】 バ ス・電車: 997 枚(47.6%) 自家用車: 452 枚(21.6%)

小田原駅周辺・訪日外国人旅行者等が移動を円滑に行うための交通サービスに関する調査 概要

1. 事業概要

(1) 調査の目的

小田原駅及び東西駅前広場を含めた交通ターミナルにおいて、案内サインや案内所など乗り継ぎに関する情報提供等の実態調査を行い、その結果を踏まえ、外国人観光客を含めた利用者の乗り継ぎ環境の向上のため、情報提供等の改善に向けた検討を行う。

(2) 業務件名

平成 28 年度小田原駅周辺・訪日外国人旅行者等が移動を円滑に行うための交通サービスに関する調査業務委託

(3) 業務期間

平成 28 年 10 月 5 日～平成 29 年 3 月 24 日

(4) 委託業者

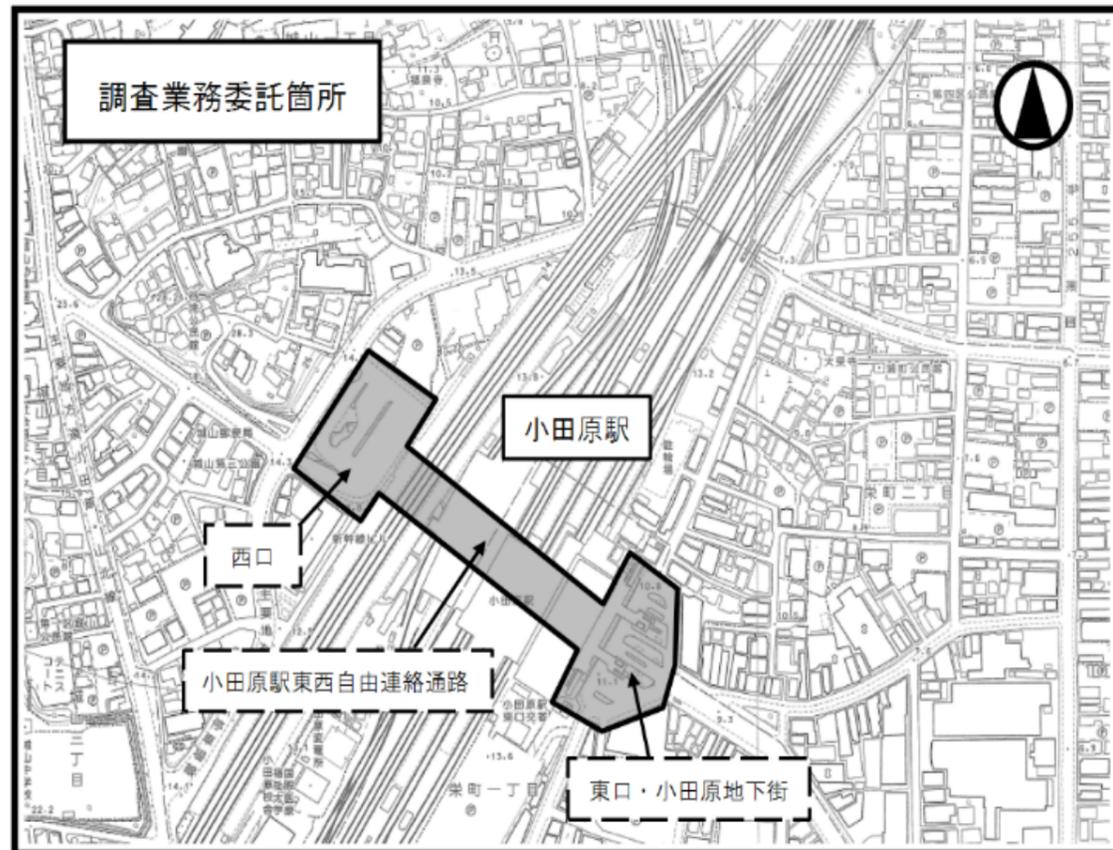
株式会社 アルメック VPI

(5) 請負金額

4,320,000 円（消費税 320,000 含む）

(6) 業務委託区域

業務委託区域は、下図の小田原駅西口駅前広場から自由通路、東口駅前広場まで（地下街を含む）



(7) 調査業務スケジュール

	10	11	12	1	2	3
(1) 実地調査	→					
(2) 案内整備における課題把握	→					
(3) 整備・改善点に対する案内等方針の検討			→			
(4) 案内情報の検討			→			
(5) 課題整理				→		
■ネットワーク協議会					第1回 2/10	第2回 3/1
■インバウンドワーキング会議			第2回 12/19			
■庁内調整会議	第1回 10/11				第2回 2/6	第3回 3/17

2. 検討体制

交通事業者を含むワーキング会議・庁内調整会議及び景観アドバイザーからの意見、また、外国人（アメリカ・フランス・タイ・韓国・中国）からの意見を踏まえ検討を進めた。

ワーキング会議メンバー	
バス事業者	箱根登山バス株式会社 伊豆箱根バス株式会社 富士急湘南バス株式会社 神奈川中央交通株式会社
タクシー事業者	神奈川県タクシー協会 小田原支部「小田原駅構内タクシー組合」
鉄道事業者	東海旅客鉄道株式会社(東海道新幹線) 東日本旅客鉄道株式会社(東海道本線) 小田急電鉄株式会社(小田急線) 伊豆箱根鉄道株式会社(大雄山線) 箱根登山鉄道株式会社(箱根登山線)
学識経験者	福島大学
交通管理者	神奈川県小田原警察署
国	国土交通省関東運輸局 神奈川運輸支局
市	小田原市

庁内調整会議メンバー	
観光課	
中心市街地振興課	
都市政策課	
拠点施設整備課	
土木管理課	
道水路整備課	

■本調査の目次構成と概要－1

1. 調査の目的・本調査の構成と概要

2. 実地調査
- 2-1 誘導・案内表示の現地調査
 - 2-2 案内所等
 - 2-3 その他の情報提供
 - 2-4 乗継ぎ動線
 - 2-5 東西の広場内乱横断者調査 (外国人を分類)

3. 案内整備における課題把握
- 3-1 乗り継ぎ動線の課題
 - 3-2 誘導・案内サインの課題

4. 整備・改善点に対する案内等方針の検討
- 4-1 交通事業者・庁内等からの意見
 - 4-2 外国人からの意見
 - 4-3 乗り継ぎ動線の方針
 - 4-4 表示言語等の方針
 - 4-5 誘導・案内サインの方針

5. 案内情報の検討
- 5-1 誘導サインのモデルデザインの検討
 - 5-2 案内サインのモデルデザインの検討
 - 5-3 誘導・案内サインの改善追加地点案

6. 課題整理

2. 実地調査
- 2-1 誘導・案内表示の現地調査
 - ・現況は日本語・英語+ピクトが中心。日本語のみのサインも若干有る。
 - 2-2 案内所等
 - ・自由通路部に観光案内所・小田急外国人旅行センター、地下部に街かど案内所が有る。英語圏の利用者・中国人の利用が多い。
 - 2-3 その他の情報提供
 - ・交通事業者のHPでは2次交通紹介はほとんどが日本語のみ。Wi-Fi環境にも制約あり。
 - 2-4 乗継ぎ動線
 - ・鉄道事業者5線からの2次交通への動線は自由通路を経由し、西口は地上部分、東口はデッキ経由(大雄山線は一部地下部経由)。
 - ・東口のその他の利用者は、地下部経由の歩行者動線。
 - 2-5 東西の広場内乱横断者調査(外国人を分類)
 - ・乱横断者は若干減少しているがまだ多い。

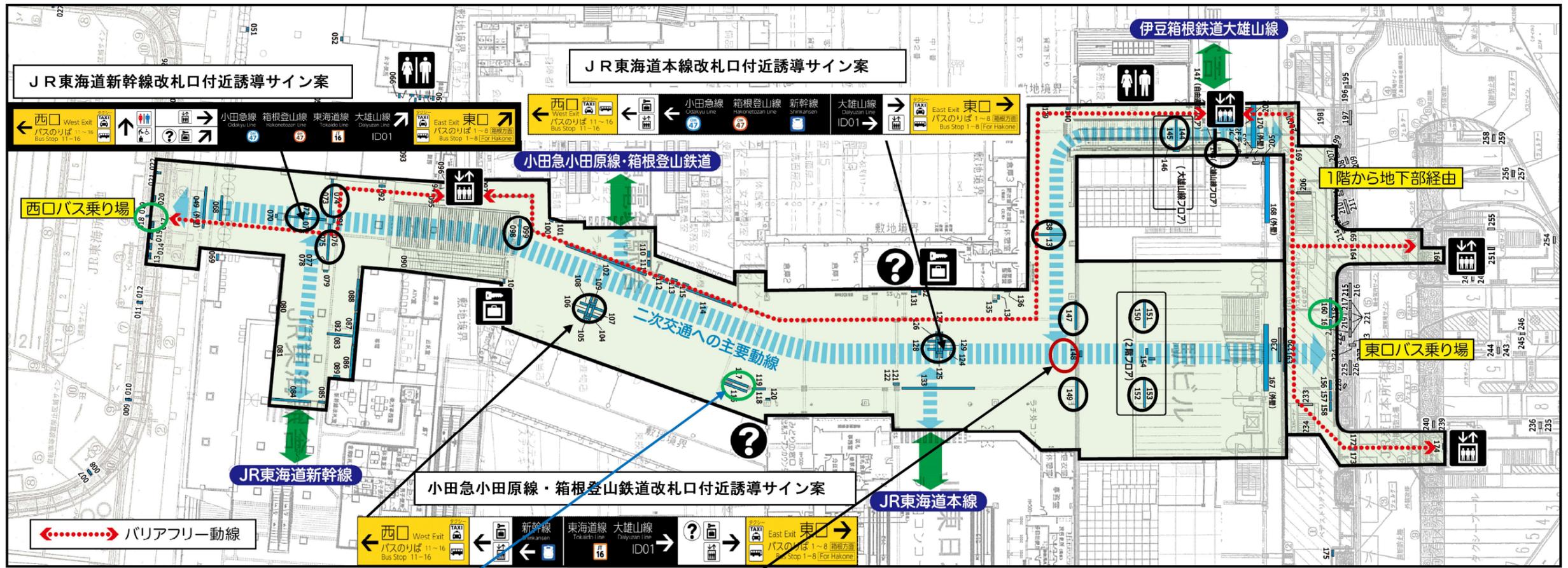
3. 案内整備における課題把握
- 3-1 乗り継ぎ動線の課題
 - ・自由通路からデッキへの移行が課題。
 - ・2次交通への情報の連続性がない。
 - 3-2 誘導・案内サインの課題
 - ・ピクト・文字が小さい。
 - ・日本語のみの表示もある。
 - ・バス乗り場案内に統一性がない。
 - ・地下部のサインが小さい・分かりにくい。
 - ・大雄山線からの案内が分かりにくい。

4. 整備・改善点に対する案内等方針の検討
- 4-1 交通事業者・庁内等からの意見
 - ・現況の誘導サインの色をベース。情報量はあまり多くなく2カ国語+ピクト。
 - ・東口の2次交通の動線はデッキ利用。その他利用は地下部利用動線。
 - 4-2 外国人からの意見
 - ・日本語、英語が基本、ピクトが小さい、バス乗り場への連続性がほしい。中華圏の人は漢字が分かる。
 - 4-3 乗り継ぎ動線の方針
 - ・東口の2次交通の動線はデッキ利用。その他利用は地下部利用動線。
 - ・2次交通へ連続性のある動線。
 - 4-4 表示言語等の方針
 - ・日本語・英語の2カ国語に統一。
 - 4-5 誘導・案内サインの方針
 - ・平成11年度調査の現計画位置、サインデザインを基本とし、東口の新たな動線部を改善・追加。
 - ・2次交通までの連続性を確保(出口方向を黄色・施設方向を黒色)。
 - ・文字・ピクトを大きく。

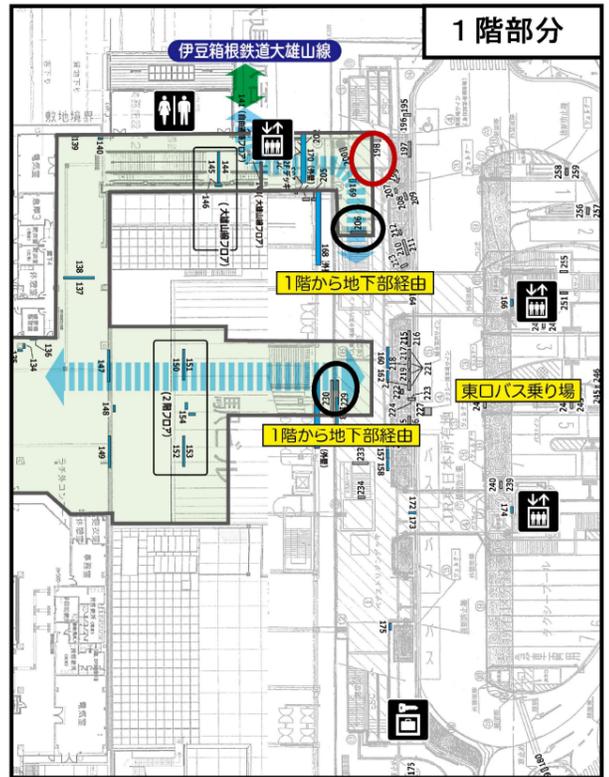
5. 案内情報の検討
- ・ピクトはJIS(日本工業規格)の案内用図記号JISZ8210-2002を使用。
 - ・使用文字の書体は、現況の新ゴシック体。
 - 5-1 誘導サインのモデルデザインの検討
 - ・自由通路からデッキへ路面標示の追加、大雄山線から及び地下部に誘導サインを追加、2次交通の基本情報+エレベーター・案内所・トイレ、東西バスの乗り場番号の重複変更、箱根方面バス乗り場の強調とバスマップの記号。
 - 5-2 案内サインのモデルデザインの検討
 - ・東西バス乗り場自由通路内の案内サインの統一化、地下部のバス乗り場に突出サインを追加。
 - ・バス乗り場の通し番号化、箱根方面の強調。
 - 5-3 誘導・案内サインの改善追加地点案
 - ・誘導サイン改善 15箇所 29面。追加 4箇所 4面。
 - ・案内サイン改善 3箇所 4面。東口バス乗り場に突出サイン 2箇所追加。

6. 課題整理
- (1) 改善案の実施に向けた課題
 - ・駅番号やバスの系統番号等調整する等交通事業者との調整の場が必要。
 - ・新たに設置する場所についてはハード面等関係部局等の調整が必要。
 - (2) 乱横断者に対する課題
 - ・当面は誘導等の強化で対応するが、長期的には安全な歩行者動線の検討が必要。
 - (3) その他の情報提供上の課題
 - ①案内所との連携
 - ・案内所からの外国人対応の要望等を常時把握、多言語への対応。
 - ②Wi-Fi環境の改善
 - ・統一アプリのPRや、Wi-Fiエリアの改善等の検討。
 - ③バス事業者との連携強化
 - ・バス事業者との2次交通に関する多言語化や小田原市との情報の共有・連携強化。
 - ④コンテンツプロバイダー等との連携
 - ・バス案内システムや情報機器による2次への案内検討。

■本調査の構成と概要-2



- 誘導サインの改善
- 誘導サインの追加
- 案内サインの改善
- 突出サインの追加



自由通路部案内サイン案

西口バス案内 West Bus Stop Information	東口バスのりば案内 East Bus Stop Information
<ul style="list-style-type: none"> 11 小田原市役所 Odawara City Hall 12 中央公民館 Central Community Hall 13 小田原市立病院 Odawara City Hospital 14 社会福祉センター Social Welfare Ctr. 15 税務署 Tax Office 16 県合同庁舎 Pref Gov't Office 17 小田原警察署 Odawara Police Sta. 18 北條早雲公像 Statue of HOJO Soun 19 めだかの学校 Medaka-no-gakko Park 20 城山陸上競技場 Shiryama Track & Field 21 城山庭球場 Shiryama Tennis Court 22 小田原競輪場 Odawara Bicycle race track 23 関東学院大学 Kantogakuin Univ. 24 国際医療福祉大学 International University of Health and Welfare 25 小田原女子短期大学 Odawara Women's Junior College 	<ul style="list-style-type: none"> 1 城東車庫前 (西ノ湖) Joto-shakomae 2 県合同庁舎・警察署・市役所・市民病院経由 Yokohama City Hall, Police Sta., City Hospital 3 箱根方面 (芦ノ湖) For Hakone/Lake Ashi 4 箱根方面 (芦ノ湖) For Hakone/Lake Ashi 5 箱根方面 (芦ノ湖) For Hakone/Lake Ashi 6 新松田駅・下野我駅 Shinmatsumoto Sta., Shimozegaki Sta. 7 国府津駅・ダイナシティ Kozu Sta., Dynacity 8 瀬河原駅 (真鶴駅) Nigawara Sta. (Manazumi Sta.)



西口バスのりば案内 West Bus Stop Information	東口バスのりば案内 East Bus Stop Information
<ul style="list-style-type: none"> 1 小田原線 Odakyu Line 2 箱根登山線 Hakonetozan Line 3 東海道線 Tokaido Line 4 大雄山線 Daiyuzan Line 5 新幹線 Shinkansen 	<ul style="list-style-type: none"> 1 小田原線 Odakyu Line 2 箱根登山線 Hakonetozan Line 3 東海道線 Tokaido Line 4 大雄山線 Daiyuzan Line 5 新幹線 Shinkansen